

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～南小国中学校での実践～ 令和2年（2020年）11月9日（月）



【阿蘇教育事務所】

～ 「親の学び」トレーナーによる講座開催 ～

テーマ：「夢」をもとう！



① 「親の学び」トレーナーと講座のめあてを確認

【講座の説明】（南小国中学校）
全校生徒を対象に、縦割り班の形式を活用し、「親の学び」プログラムトレーナーがゲストティーチャーとして入り、「次世代編Ⅱ プログラム11：「夢」をもとう！」をテーマにした講座を実践しました。

～ 講座の流れ ～

① 講座の内容とめあてを確認

「親の学び」プログラムの実践

- ② さいころトークによるアイスブレイク
- ③ 自分の夢を書いてみよう
- ④ 夢を達成するためにできることや準備について
- ⑤ 今できることや準備について班内での共有
- ⑥ 共有したことについての気づきと振り返り

⑦ 講座全体についてのまとめ

【生徒の感想】

みんなの夢を聞くことができ、よかった。自分の夢について考え、今の自分に何ができるかなど考えることができた。サイコロトークは、初対面の方と話し合ったりするのにとってもいい方法だと思った。

人それぞれの夢があっていいと思った。親のおかげで、できていることが、たくさんあると思った。

「親の学び」という題だが、次世代の人にも役立つ内容なのかなと思った。こういう経験はあまりなかったので、経験することができてよかった。

夢があると何事も頑張れそうだなと思った。自分がもし親になったときは、子どもを応援してあげられる親になりたいと思った。自分の夢をふせんに書きだしてくださいと言われて、二つしか書けなくて、自分でもびっくりした。

【次世代編のメリット】

- コミュニケーションやモラル、マナー等、自分の将来について考える内容が多く、夢を描くことができる。
- 生徒が大人になってから子供に伝えるために、今の自分がどのような行動をとる必要があるのか考えることができる。
- ゲストティーチャー（トレーナー）が入ることで雰囲気が変わり、インパクトを与えることができる。



③ 自分の夢を書いてみよう



⑤ 今できることや準備について班内での共有



⑦ 講座全体についてのまとめ